

# 宇都宮民報

—発行—  
日本共産党  
宇都宮市委員会  
弥生1丁目7-11  
旭コーポ1階  
TEL634-8722

政治闘争の道しるべ、  
闘争の道しるべ  
しん 赤旗  
日刊 3497円  
月刊 930円

## 宇都宮市長選で(11月8日告示 11月15日投票) 史上初 すどう博氏と4野党(共立・社民・立新) 市民団体が政策協定!!



政策合意書をかかげるすどう博氏(左から4人目)と各政党・団体代表の皆さん

### 政策合意書に署名

10月11日、宇都宮市内において、宇都宮市長選挙における政策合意書が、予定候補すどう博氏と、共産、立憲、社民、新社の野党4党及び県民ネット、LRT問題連絡会の市民団体との間で、取り交わされました。

政策合意内容は下記①～④の4点です。  
また、予定候補と参加団体は、当選のために全力で戦うことを表明、当選後は、政策実現のために最大限の努力をすることなどを誓約しました。

① 憲法を生かし、命と暮らしを守り、人権尊重の市政を目指す。  
② 新型コロナウイルス対策—医療・公衆衛生対策に万全を期す。感染症による市民や中小零細企業の不利益の軽減、解消に尽力  
③ 利潤追求・効率至上主義のゆがみをただし、社会的弱者・少数者の権利尊重、安心の生活への政策実行  
④ LRTの見直しを行い、結論が出るまで工事は凍結する



花束を受け取るすどう博予定候補

のべ、市長選勝利への強い決意を表明しました。4年前の市長選挙では、LRT反対を掲げてたたかった金子とおる氏が、6000票差で惜敗。今回は、いわゆる市民と野党の共闘が、推薦という形でより強固な基盤が作られることになり、期待が高まっています。

台風の影響で冷たい雨が降りしきる中、JR宇都宮駅西口前には、たくさんの支持者が集まりました。  
**青木ひろし予定候補が元気にあいさつ**  
野村せつ子県議の司会で、初めに青木ひろし衆議院栃木1区予定候補・国政対策委員長が、元気なあいさつをしました。  
「宇都宮市民は総選挙を前に11月15日に県知事選挙、宇都宮市長選挙で現政権に対する意思を表明できる」と。  
続いて先日発表になった栃木5区の予定候補の岡村恵子さんが「長い市議会議員としての経験を活かしてがんばり



左から岡村、梅村、山添、青木氏

## 総選挙で 野党連合政権の実現を

—日本共産党を強く大きく!—

「一番の手当ては消費税減税」と決意を述べました。  
続いて北関東比例代表選挙の予定候補で連日北関東4県を駆け回っている梅村さえ子さんが、「コロナ禍の中、生活苦で本当に困っている方がたくさんいる。こうした皆さんへの1番の手当は消費税を減税することだ」と訴え「今回は何としても皆さんの大きなお力添えで国会に送っていただきたい」と力強く話しました。  
**菅政権は安倍政権に負けず劣らず危険**  
最後にマイクを握ったのは参議院議員の山添拓さん。菅政権の日本学術会議への人事介入を厳しく批判し、「安倍政権に負けず劣らずの危険な特徴があらわになった」「日本共産党は都道府県委員長会議で次の総選挙で政権交代を実現し、野党連合政権を樹立することを目標に掲げた」「政治はみんなで声を上げてこそ動かせる」「憲法が生きる希望の日本を野党連合政権でつくりよう!そのためにも日本共産党を強く大きくしてほしい」と力を込めました。

### すどう先生ってこんな人(原ちづる記)

すどう先生を一言で表したら…「あったかい人」かと思います。すどう先生は、私たちが毎月行っている「定例無料なんでも相談会」にご協力いただいています。様々な相談が舞い込みますが、相談者に対していつも前向きにかかわっていただいている印象があります。専門外の内容である場合も、豊富な人生経験をもとにアドバイスを下さったり、笑いを交えたり、相談に来た方が元気になって帰られる姿を見えています。

これまで弁護士として、消費者問題や労働問題、少年事件など、いつも弱い者の味方として仕事をしてきたからこそと感じています。

すどう先生の言葉にはいつも「心」が乗っています。厳しい言葉の時も、やさしい言葉の時も、形式的ではなく「思い」のこもった言葉なのです。



ぜひ皆さん、事務所に起こしになって「生すどう先生」を体感して下さい。すどう新市長誕生のために、みなさん一緒にがんばりましょう！

## 意気高く事務所開き

10月18日まじかに迫った宇都宮市長選挙に立候補を決意したすどう博さんの事務所開きが行われました。

事務所には壁いっぱい、書きが並び、各野党党首や、議員、市民団体から寄せられた華やかです。いかに選挙での野党共闘が待たれていたかを物語るように、狭い事務所はにぎやかになりました。

晴れた青空の下、事務所の外も集まった市民でいっぱいでした。

呼びかけ人代表として県民ネットの太田代表の挨拶の後、各政党・市民団体の代表挨拶と続き、すどう博さんより決意表明がされました。

「弁護士である私は、当然



頑張ろう三唱する政党・団体の代表の皆さん。左から3人目がすどう氏

ではあるが、日本国憲法を厳しく守っていく」という力強いあいさつがありました。最後は野村せつ子共産党県議の音頭で頑張ろう三唱でしめくられました。

すどう事務所・平成通り沿い  
京町11の15 ユタカビル  
TEL (689) 8780  
FAX (689) 8770

## 安保法制廃止！9条守れ！

宇都宮市民の会 総会

10月25日(日) 13:30-15:40

総合コミュニティセンター大集会室

- ・総会 / 13:30~14:00
- ・基調講演 / 14:10~15:40

「コロナ禍をとおしてみえた憲法」

- ・講師 / 太田 伊早子 弁護士

## 学校給食を考える会が総会

食物アレルギー問題についても理解を深める



あいさつする宇田会長

10月10日、栃木県の学校給食を考える会の総会が宇都宮市内で開かれました。同会は2019年5月に新婦人、県労連、農民連なども参加、協力する市民団体として発足したものです。学校給食の無償化や安心、安全の確保、食育の充実などを求めて運動を進めてきました。

開会挨拶で宇田靖会長

は「コロナ禍や貧困問題からも学校給食の重要性が増し、自治体助成による家計支援、地産地消、自校方式による安全確保などが問われている」と指摘。

「学校給食についてのアンケート」(個人が行ったSNSアンケート)の報告では「無農薬・有機栽培の野菜を」「牛乳は選択制にして」「完全米飯給食に」「和食中心に」などの要望が寄せられているとのことでした。

なデータも報告され、改めて会として自校方式がすぐれているとの結論が出されました。

総会后、生協ふたば診療所の天谷静雄医師が「アレルギーと食物について考える」と題して記念講演。食物アレルギーがどうして起きるか、アレルギーが起きた場合の対応や除去食の進め方、および現代人に増えている要因としての環境問題などに触れられた講演を行いました。



日本共産党宇都宮市議員団 定例無料

## 市政・法律なんでも相談会

雇用問題・多重債務・生活保護・年金・国保・住宅  
道路・交通安全・その他なんでも・・・

◇日時 11月14日(土) 午後2~4時  
12月12日(土)

◇会場 宇都宮市総合コミュニティセンター

◇連絡先 日中 TEL632-2622 (党市議員団控室)  
土・日・夜間 TEL634-8722 (党市委員会)

相談ご希望の方はできる限り事前にご連絡をお願いします。  
秘密厳守します。弁護士が協力します。